

第2回豊橋市長期末整備公園見直し計画検討委員会議事録

1. 日 時：令和5年12月13日（水）午前10時から11時30分まで
2. 場 所：豊橋市役所東館8階83会議室
3. 出席者：浅野純一郎（豊橋技術科学大学 建築都市システム学系教授）
松本幸正（名城大学 理工学部社会基盤デザイン工学科教授）
川口暢子（愛知工業大学 工学部土木工学科准教授）
オブザーバー：北川善巳（愛知県 都市・交通局都市基盤部公園緑地課長）【当日欠席】
村田卓則（愛知県 東三河建設事務所 企画調整監）
4. 事務局：浅井清史（公園緑地課長）夏目泰裕（公園緑地課専門員）
神谷和宏（公園緑地課主査）、氏原崇裕（公園緑地課）
5. 議事内容：
 - （1）豊橋市長期末整備公園見直し計画（素案）について
 - （2）計画策定のスケジュールについて
6. 議事概要
(委員)
 - ・P26 方針は理解した。ウの所で保安林指定はあるか。
(事務局)
 - ・弓張山地の中ではあるが、今回の対象エリアの中では少ないかもしれません。確認します。
(委員)
 - ・P27 対処フローのステップCの実現性評価で難易度が高いから整備を行わないのはおかしいのではないかと。見直し方針のオ市民の意向やニーズに対する視点は対処フローのどこで入れるのか。
(事務局)
 - ・都市計画変更の参考と考えています。
(委員)
 - ・P7の都市公園の配置にはばらつきがあると記載があり、その根拠はP9の図だと思うが、わかりにくいので、根拠となる表があるといいのでは。
(委員)
 - ・9章はまとめて、10章の方針を決定している。ちびっこ広場、児童遊園について、検証結果で出てくるが、担保性の整合性がとれているかどうか。
(委員)
 - ・P9の図では公園を点で表しており、実際の公園面積がわからず判断しにくい。
(委員)
 - ・対処フローで使用しないなら、オは、分けた方がいいのでは。ア～エはフロー作成の際のもの。オは都市計画決定変更の際のもの。

(委員)

- ・ 存続・廃止するのはあくまでも未整備エリアについて。わかりにくいので詳しく説明が必要ではないか。

(委員)

- ・ 全部評価が横並びかどうか。重みづけがあってもよいのでは。

(委員)

- ・ 表し方としては、フロー形式の方がわかりやすいのでは。